

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2011年第28号(週報・月報合併号)

2011年第28週(7月11日~7月17日)、月報6月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— 手足口病 : 患者報告数はわずかに増加、県内7保健所管内で警報レベル!! —

県全体の定点当たり患者報告数は、9.97人(前週:9.87人)と増加の幅は緩やかになりましたが、第18週以降継続して増加しており、過去5年間の同時期と比較して非常に多くなっています。

保健所別では、和歌山市保健所管内の患者報告数が、17.22人(前週:16.78人)と最も多くなっています。また、田辺保健所管内も患者報告数が14.25人(前週:14.50人)と非常に多くなっています。今週は、橋本保健所管内、串本支所を除く7保健所管内で警報レベルです。

この疾病の感染経路は、飛沫感染、接触感染及び糞口感染です。感染予防のために流水と石けんで十分に手洗いを行い、タオルの共用は避けてください。

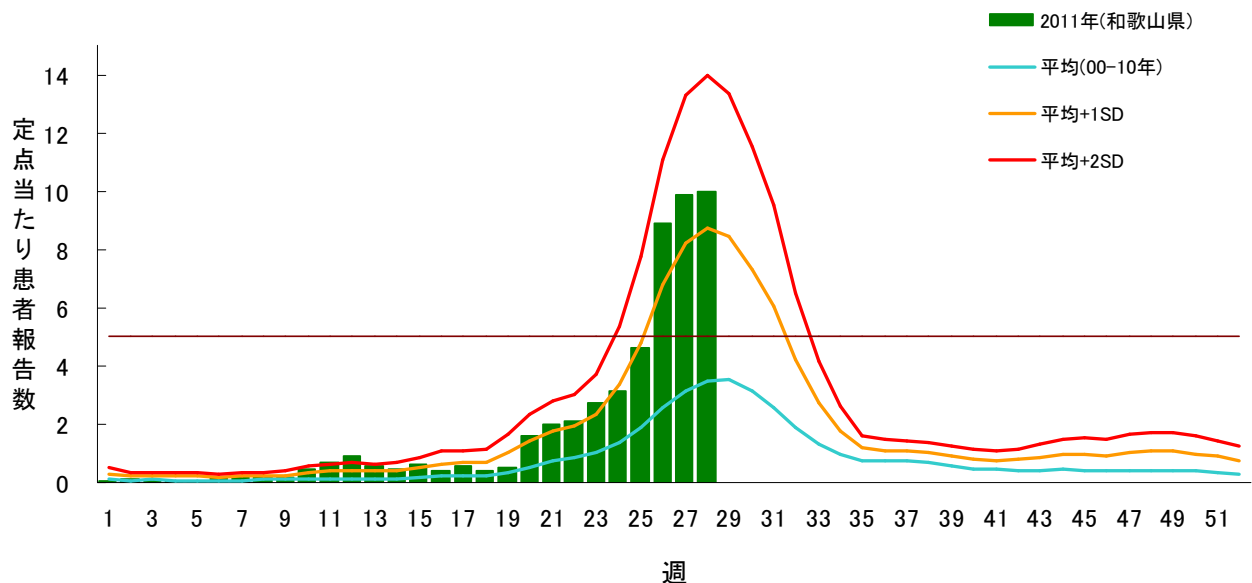
手足口病の詳しい説明はこちら: 国立感染症研究所感染症情報センター感染症の話

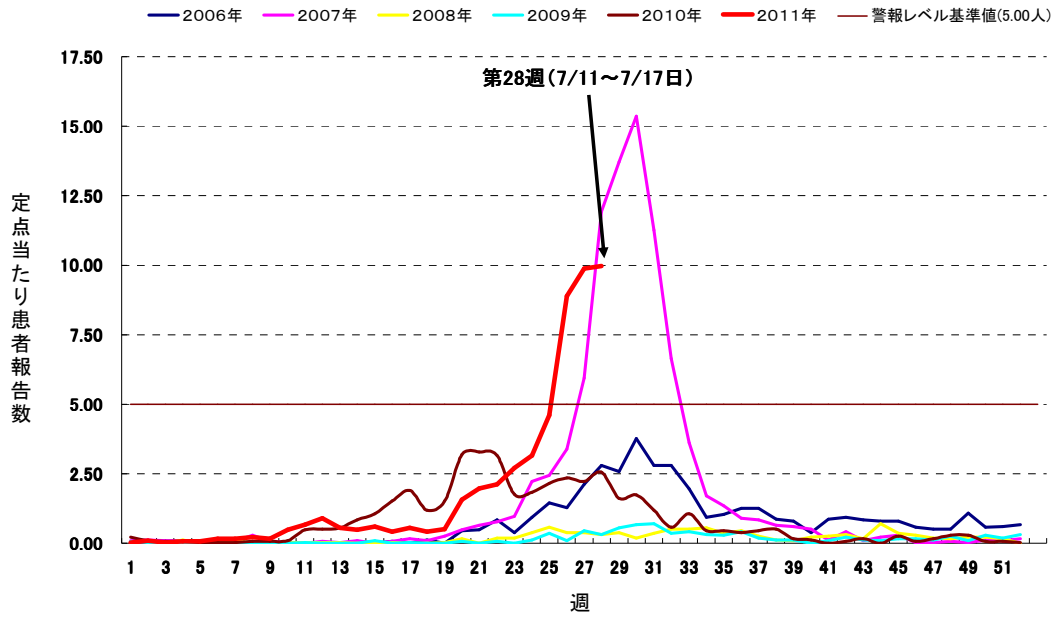
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k01_g2/k01_27/k01_27.html

昨シーズン流行時の原因ウイルス調査結果はこちら: 和歌山県環境衛生研究センター調査研究

http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko/topics/ryukou_winter_2008/result_2010.htm

手足口病患者報告数の推移(和歌山県)





— **伝染性紅斑** : 患者報告数は増加、湯浅保健所管内で患者報告数が多い! —

県全体の定点当たり患者報告数は、0.97人（前週：0.81人）と増加しました。過去5年間の同時期と比較して非常に多く、注意が必要です。

保健所別では、湯浅保健所管内の患者報告数が3.00人（前週：3.00人）と最も多い状況です。今週は、和歌山市、湯浅、新宮保健所管内で警報レベルとなっています。

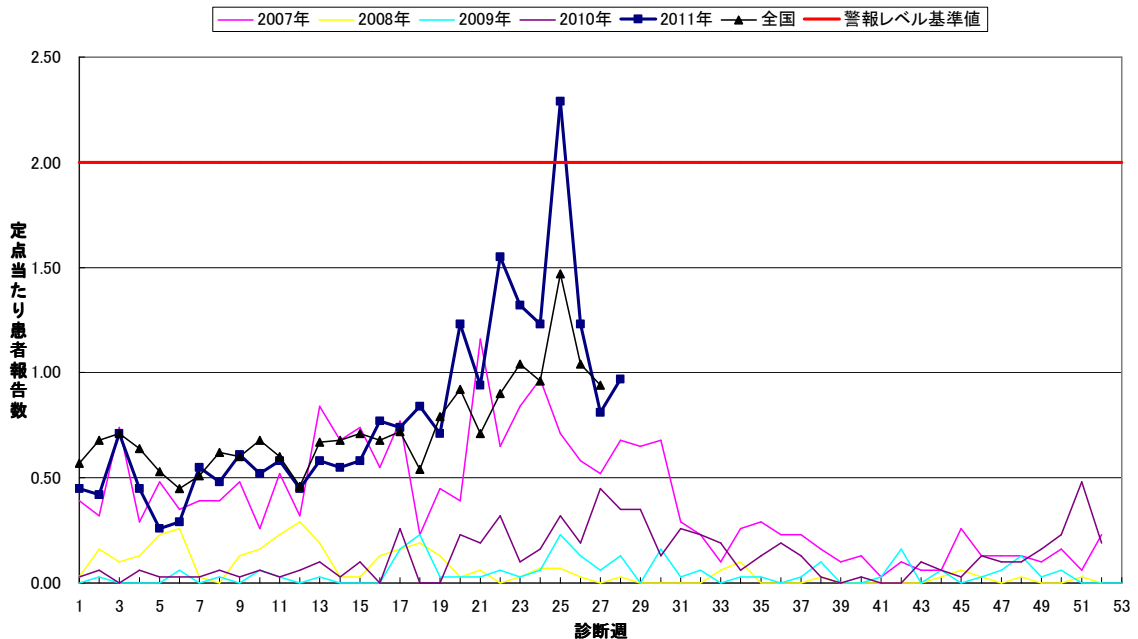
また、第27週の全国の定点当たり患者報告数は、0.94人（第26週：1.04人）と減少していますが、過去5年間の同時期と比較してやや多い状況です。

本疾病は一般的に春先から夏にかけて患者報告数が多くなるため、今後の動向に注意が必要です。

伝染性紅斑の詳しい説明はこちら：国立感染症研究所感染症情報センター感染症の話

http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k04/k04_23/k04_23.html

伝染性紅斑(和歌山県全体)



－ ヘルパンギーナ：患者報告数は再び増加、県内4保健所管内で警報レベル！！ －

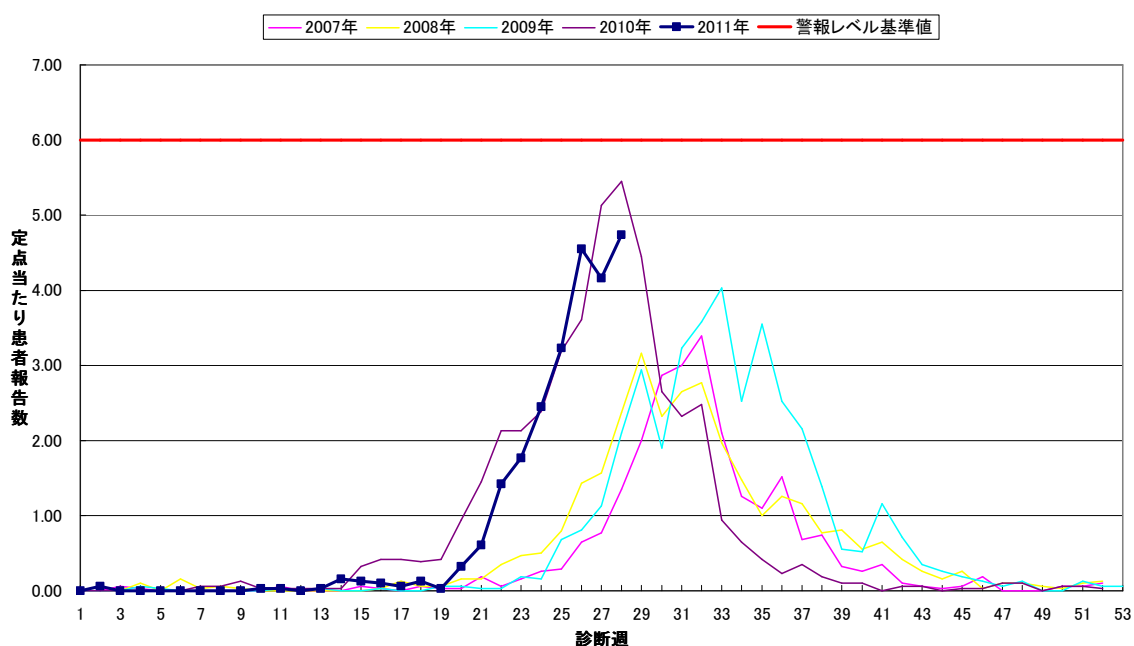
県全体の定点当たり患者報告数は、4.74人（前週：4.16人）と再び増加しました。患者報告数は、昨年の同時期と同程度です。

保健所別では、海南、岩出、新宮保健所管内の患者報告数がそれぞれ、9.50人（前週：5.50人）、11.00人（前週：7.00人）、9.00人（前週：3.00人）と特に多くなっています。今週は、これら3保健所管内と田辺保健所管内で警報レベルです。

この疾病は夏季に流行し、例年県内では第30週～第35週にかけて流行のピークを迎えます。流行期では、特にうがいや手指の消毒を心がけてください。

ヘルパンギーナの詳しい説明はこちら：国立感染症研究所感染症情報センター感染症の話
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_08.html

ヘルパンギーナ(和歌山県全体)



○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	－
感染性胃腸炎	20	12	－
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	－
伝染性紅斑	2	1	－
百日咳	1	0.1	－
ヘルパンギーナ	6	2	－
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	－
流行性角結膜炎	8	4	－

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「－」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核 6名
 - 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1名
 - 4類感染症：報告はありませんでした。
 - 5類感染症：報告はありませんでした。

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	265
腸管出血性大腸菌感染症	1
E型肝炎	1
A型肝炎	1
つつが虫病	4
日本紅斑熱	4
アメーバ赤痢	4
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2
後天性免疫不全症候群	6
ジアルジア症	1
梅毒	3
破傷風	1

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- 手足口病（和歌山市、海南、岩出、湯浅、御坊、田辺、新宮保健所管内）
- 伝染性紅斑（和歌山市、湯浅、新宮保健所管内）
- ヘルパンギーナ（海南、岩出、田辺、新宮保健所管内）

注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.06	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	17	-	1	3	2	2	5	4	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.55	-	0.03	0.1	0.06	0.06	0.16	0.13	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	14	-	-	-	-	3	3	1	-	4	1	1	1	-	-
	定当	0.45	-	-	-	-	0.1	0.1	0.03	-	0.13	0.03	0.03	0.03	-	-
感染性胃腸炎	報告	68	-	6	7	4	12	9	5	6	8	5	1	3	1	1
	定当	2.19	-	0.19	0.23	0.13	0.39	0.29	0.16	0.19	0.26	0.16	0.03	0.1	0.03	0.03
水痘	報告	23	-	1	6	2	2	3	4	5	-	-	-	-	-	-
	定当	0.74	-	0.03	0.19	0.06	0.06	0.1	0.13	0.16	-	-	-	-	-	-
手足口病	報告	309	6	30	67	59	42	33	31	14	10	4	6	7	-	-
	定当	9.97	0.19	0.97	2.16	1.9	1.35	1.06	1	0.45	0.32	0.13	0.19	0.23	-	-
伝染性紅斑	報告	30	-	-	2	1	3	5	8	2	-	3	4	2	-	-
	定当	0.97	-	-	0.06	0.03	0.1	0.16	0.26	0.06	-	0.1	0.13	0.06	-	-
突発性発疹	報告	20	1	11	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.65	0.03	0.35	0.23	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-
ヘルパンギーナ	報告	147	2	9	27	29	22	24	14	13	-	2	1	4	-	-
	定当	4.74	0.06	0.29	0.87	0.94	0.71	0.77	0.45	0.42	-	0.06	0.03	0.13	-	-
流行性耳下腺炎	報告	9	-	-	1	1	3	2	-	-	1	-	-	1	-	-
	定当	0.29	-	-	0.03	0.03	0.1	0.06	-	-	0.03	-	-	0.03	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	1	-
	定当	0.11	-	-	-	-	-	-	0.5	-
咽頭結膜熱	報告	9	-	5	-	-	3	-	-	-
	定当	1	-	1.25	-	-	1.5	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	5	-	1	1	-	2	3	2	-
	定当	0.56	-	0.25	0.25	-	1	0.75	1	-
感染性胃腸炎	報告	51	3	9	2	-	-	-	3	-
	定当	5.67	1.5	2.25	0.5	-	-	-	1.5	-
水痘	報告	6	3	2	-	4	3	4	1	-
	定当	0.67	1.5	0.5	-	1.33	1.5	1	0.5	-
手足口病	報告	155	15	17	16	19	11	57	18	1
	定当	17.22	7.5	4.25	4	6.33	5.5	14.25	9	1
伝染性紅斑	報告	9	1	5	-	9	-	1	5	-
	定当	1	0.5	1.25	-	3	-	0.25	2.5	-
突発性発疹	報告	6	1	2	2	5	2	2	-	-
	定当	0.67	0.5	0.5	0.5	1.67	1	0.5	-	-
百日咳	報告	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	36	19	44	7	4	3	16	18	-
	定当	4	9.5	11	1.75	1.33	1.5	4	9	-
流行性耳下腺炎	報告	2	1	2	-	1	1	2	-	-
	定当	0.22	0.5	0.5	-	0.33	0.5	0.5	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	3	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	1	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	1	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

6月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が3.91人(5月:1.91人)と大きく増加し、最も多くなっています。次いでペニシリン耐性肺炎球菌感染症が、0.18人となっています。また、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約65%を占めています。

【6月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳~
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	43	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	4	5	4	28
	定当	3.91	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	0.09	-	-	0.36	0.45	0.36	2.55
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2011 年第 28 号

発行日：平成 23 年 7 月 21 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。